

## 指定管理業務評価結果書

### 1. 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山圏域雇用労働センター
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下92-1 名称 津山広域事務組合 代表者 管理者 津山市長 宮地 昭 範
(3) 公の施設の所管部署	仕事・移住支援室
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日

### 2. 施設の利用状況

(1) 利用者数等	年間利用者数 31,279人 (前年度31,329人)
(2) 事業の内容	雇用労働関係事業の開催及び一般貸館事業

### 3. 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	15,340千円 (前年度13,576千円)
	利用料金収入	11,082千円
	指定管理料	3,394千円
	その他の収入	864千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	9,280千円 (前年度9,758千円)
	主な支出 人件費	3,790千円
	光熱水費	2,651千円
	修繕・消耗品費等	215千円
	委託料	2,374千円
	その他	277千円

#### 4. 総合評価結果

<p>(1) 指定管理者の自己評価</p>	<p>利用者数は微減はしたものの、昨年度に増えた利用数とほぼ同じ水準で利用数が継続しており、大ホールを販売等を行うため10割増し料金を支払って利用する団体が増えたため、利用料が増加した。今後も広報を行い、利用者数の増加を図る。</p> <p>また、電力会社をエネサーブに代えたことで、電気使用量が削減されたため、支出も減少している。</p> <p>ただし、利用者数が増えてくることにより、駐車場が不足する事態が生じている。新たな駐車場の確保は困難であるため、施設利用の案内を行う際や、申込用紙の注意書きで、乗り合わせや公共交通機関の利用を呼びかけるようにする。</p> <p>なお、11月27日の建物火災により、津山市観光協会に11月28日から3月15日まで中会議室を仮事業所として貸し出したため、中会議室の利用を希望する団体には他の会議室を案内することとなったが、その間の利用者は前年度と比べて増えており、丁寧な対応による成果だと考える。</p>
<p>(2) アンケート調査の概要</p>	<p>2か月間の利用者アンケートを実施した。利用者数に対して回答数が少ないが、これは複数回利用者が多いことが原因と考えられる。今後は、ホームページ等での周知だけでなく、リピーターとなっている利用者に紹介をお願いするなど新規利用者の開拓が必要と思われる。</p> <p>利用者の感想について、利用者のほとんどが「満足」との回答をいただいております。今後とも利用者に満足いただけるよう対応をしていく。なお、収容人数に比して駐車場が狭小であるという意見もいただいている。乗り合わせ等の呼びかけを積極的に呼びかけていく。</p> <p>また、申込の際の利便性を上げて欲しいという意見もあるため、どのような部分に不便を感じているか聞き取り等で調査を行い、改善したい。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>使用料収入が前年度比1,764千円増となっており、また、電力会社変更によって支出の削減を行ったことは評価できる。</p> <p>また、センター2階に設置している自動販売機によって、行政財産使用料及び売上納付金として73千円が津山市の収入、248千円</p>

	<p>が津山広域事務組合の収入となっており、独自の収入源を確保していることは評価できる。</p> <p>アンケート結果についても、「満足」「ふつう」との意見ばかりで、「不満」という声がなかったことも評価する。特に「清掃もゆき届いていてトイレもきれい」という意見を受けていることには注視したい。今後も、利用者にとって使いやすい施設となるよう引き続き努めることを期待する。</p> <p>なお、自己評価でも述べているが、訪れてみて駐車場がないという利用者からの苦情や問い合わせを受ける頻度が増えているとの報告を受けている。この課題に対して、利用者に対して不便を感じさせないよう工夫し、運用改善を図ること。</p>
--	--